

期 日 令和7年 4 月 27 日 (土 曜) 開始時刻 14:38 終了時刻 15:40

審 判 長 堀井 隆夫

随協名 兵部陸上競技協会 コード 2 8 競技会名 第75回尼崎市民スポーツ祭 (陸上競技の部)

コード 2 5 2 8 1 0 0 2

記 録 主 任 原口 政一郎

主催団体名 尼崎市陸上競技協会 競技場名 尼崎市記念公園陸上競技場 (バイコム陸上競技場)

コード 2 8 2 0 6 0

記録担当審判員 丹下 恵子

試技順	ナンバー	競技者名 (生 年)	都 道 府 県 名 所 属 ・ 学 年	試 技			3 回 までの 最 高 記 録	トップ8 の 試技順	試 技			最 高 記 録	順位	得 点	備 考
				1	2	3			4	5	6				
1	182	谷口 朔太郎	県尼崎高 2		+					+		DNS			
2	722	徳田 直人	尼崎小田高 2	x	+	x				+		NM			
3	514	本田 琉侖	尼崎北高 2		+					+		DNS			
4	186	有本 椿季	県尼崎高 2		+					+		DNS			
5	516	宇野 陽登	尼崎北高 2		+					+		DNS			
6	504	掛田 大和	尼崎北高 3	5 4 1 + 2.2	5 5 4 + 3.4	x	+			+		5 5 4 + 3.4			
7	329	杉野 陽一	尼崎双星高 2	6 0 4 + 1.7	5 3 8 + 2.9	5 9 9 - 0.5	6 0 4 + 1.7	1	x	+	x	+	5 9 6 +	6 0 4 + 1.7	8
8	470	宮本 琉誠	尼崎西高 2	x	+	6 3 9 - 0.2	x	+		+		6 4 8 + 1.6	6 4 8 + 1.6	4	
9	634	葉山 洸千代	尼崎稲園高 2	x	+	6 2 2 + 3.2	x	+		+		6 3 9 + 0.3	6 3 9 + 0.3	6	
10	465	野津 昊希	尼崎西高 3	x	+	5 9 7 + 2.0	6 1 2 + 2.0	2	5 9 9 + 2.0	x	+	5 9 0 + 2.6	6 1 2 + 2.0	7	
11	419	島上 大哉	AMACT	5 5 5 + 1.4	5 7 7 + 0.0	5 8 8 + 2.9	5 8 8 + 2.9			+		+	5 8 8 + 2.9		
12	6-1841	足立 涼太	大阪産業大 1	6 2 9 + 1.5	x	+	4 8 9 + 2.9	6 2 9 + 1.5	4	6 4 3 + 1.1	x	+	6 3 4 + 1.5	6 4 3 + 1.1	5
13	282	奥田 春稀	市尼崎高 2	5 6 4 + 0.7	5 5 8 + 1.2	5 7 4 + 4.3	5 7 4 + 4.3			+		+	5 7 4 + 4.3		
14	641	南野 翔太	尼崎稲園高 2		+		+			+		+			
15	281	上原 和希	市尼崎高 2	6 8 6 + 0.5	5 0 5 + 1.7	6 6 6 + 2.2	6 8 6 + 0.5	6	6 3 7 + 0.3	6 6 5 + 4.4	6 5 7 + 0.7	6 8 6 + 0.5	3		
16	271	藤本 駿希	市尼崎高 3	6 9 3 + 2.5	6 9 9 + 3.9	6 7 1 + 2.2	6 9 9 + 3.9	7	6 9 6 + 1.6	x	+	6 9 8 + 1.5	6 9 9 + 3.9	2	
17	6-1400	宮本 恵成	大阪経済大 3	x	+	7 0 5 + 2.8	x	+		+		6 8 6 + 2.9	7 0 5 + 2.8	1	
18					+		+			+		+			
19					+		+			+		+			
20					+		+			+		+			
21					+		+			+		+			
22					+		+			+		+			
23					+		+			+		+			
24					+		+			+		+			

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技…x、失格…DQ、欠場…DNS、パス…-、試技放棄…r、記録なし…NM)

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05)

注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は「H」3 (High school)、中学生は「J」3 (Junior high school)で記入する。

注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2回目抗議があった場合は「3回目よりP」)。競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。

記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

注: 記録記入上の注意

